

事務事業名		街頭補導実施事業				評価区分(事前評価・事後評価)				
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり				担当組織	担当部	教育総務部	担当課	少年指導センター
	政策	1 安心して安全に暮らせるまちづくり				担当係		担当課長名	小曾根治夫	
	施策	2 交通安全・防犯対策の推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 防犯意識の高揚と防犯体制の充実				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	14920	一般	10	4	6	街頭補導実施事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	昭和49年度～ 年度		根拠法令 条例等	少年指導センター条例、同 条例施行規則				
						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
						実施方法		直営		
						事業分類		その他市民に対する事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
教育委員会より委嘱した少年補導員を1班、3～4人で20班を編成し、午後、夕方、夜間の時間帯いずれかに、市内の公園、ゲームセンター、大型ショッピング店等を巡回する。			定例街頭補導、特別補導(列車補導、祭事における巡回補導等)、自主補導(補導員の自主性に委ねての巡回補導)を実施した。							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
街頭補導等を実施した回数			回	298	306	355	360	365		
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
20歳未満の青少年(6歳～20歳未満)			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
20歳未満の人口					人	15,372	15,189			
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
街頭補導実施時に声掛けをすることにより、青少年の非行の早期発見、未然防止を図る。			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
巡回時に注意した人数					人	244	187	198	181	165
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
普段から防犯対策が十分になされている。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
街頭補導実施回数					回		306	355	360	365

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	21	21	21	21	21					
	一般財源	千円	6,653	6,956	6,956	6,956	6,956					
	事業費計(A)	千円	6,674	6,977	6,977	6,977	6,977					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			報酬	5,970	報酬	5,970	報酬	5,824	報酬	5,970	報酬	5,824
			共済費	647	共済費	654	共済費	665	共済費	654	共済費	665
旅費			35	旅費	35	旅費	35	旅費	35	旅費	35	
需用費			22	需用費	300	需用費	357	需用費	300	需用費	357	
役員費				役員費	18	役員費	58	役員費	18	役員費	58	
						公課費	38			公課費	38	
人件費	人	1	1	1	1	1						
のべ業務時間	時間	430	430	430	430	430						
人件費計(B)	千円	1,673	1,695	1,695	1,695	1,695						
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,347	8,672	8,672	8,672	8,672						

事務事業名	街頭補導実施事業	担当部	教育総務部	担当課	少年指導センター	担当係	
-------	----------	-----	-------	-----	----------	-----	--

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	補導センターは、昭和27年に当時の京都府警察本部に設置されたのを皮切りに全国に設置されてきました。本市においても、青少年の非行が顕著になってきたことから、昭和49年に佐野市少年指導センターを設置し、事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	少年が被害者となる犯罪はもとより、加害者となる凶悪犯罪も増加している。特にパソコンや携帯電話の普及・発達により、青少年がインターネットを介して巻き込まれる犯罪も増えている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 この事業は、青少年の健全育成のためであり、政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 青少年を取り巻く環境が悪化している今日、青少年の非行防止や社会環境を浄化するなど、市が中心になって実施することは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 青少年(未成年者)を対象に行う事業であり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 街頭補導を行う場所、特に時間帯を見直して実施する。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案 類似事務事業名 佐野警察署委嘱の少年指導委員による街頭補導 ・ 佐野警察署委嘱の少年指導委員による街頭補導と市少年補導員が行う街頭補導には、活動実施日、時間帯に相違があり連携は難しい。 ・ 報酬等の条件で接点がない。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	人件費の削減余地がある	理由・改善案 街頭補導は少年補導員と少年指導センター職員が一緒に実施している。夜間の街頭補導には当然職員の時間外勤務手当の経費がかかるので、街頭補導を少年補導員に任せ、少年指導センター職員が一緒に実施する街頭補導の回数を削減する。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 青少年(未成年者)を対象に健全育成を目的にしているため、受益者負担をお願いする余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	青少年の非行は、減少傾向にあっても全くなくなることは考えにくい。逆にこの活動を廃止・休止した場合、青少年非行は増加に転じることが懸念されるので、廃止・休止はできない。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①街頭補導は、少年補導員とセンター職員との合同で実施しているが、少年補導員のための街頭補導へ移行するとともに、補導を行う場所や時間帯等も見直す。 ②厳しい財政下において、県内各市や隣県都市の状況を勘案し、報酬の額を見直す必要がある。(条例の改正が必要)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>①</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	②			維持		①	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	②																							
	維持		①	×																					
	低下		×	×																					